

〔枕草子〕<sup>六</sup>せきは

あふさかのせきすまの關すゝかのせきくきだの關、えら川のせき、衣の關、たゞこえのせきは、  
かりのせきと、たとしへなくこそおぼゆれ、よこばしりの關、きよみがせき、見るめの關、よしなし  
のせきこそ、いかにおもひ返したるならん、いとえらまほしけれ、それをなこそ、その關とはいふ  
にやあらん、あふ坂などをまで思ひ返したらば、わびしからんかし、あしがらのせき、

〔八雲御抄〕<sup>五</sup>關略

あふさかの關、近古、今水、祓、見るめ、同、よし／＼の同、ふはの美乃、

清正、紀、万、となみの越中、万を關、なこそ、師賢、後、ころもの同、後、あしがら

の相、後、えらかはの陸、拾、は、かりの同、後、拾、清みが、駿、海邊、ふじのす、すまの攝、同、

歟、新、古、もじの、筑前、海邊、顯、輔、え、た、ひ、も、の、東、國、歌、詞、す、ゝ、か、の、伊、勢、く、き、だ、の、源、氏、か

すみの、東、國、武、た、ゞ、こ、え、の、清、少、納、言、よ、こ、ば、し、り、の、同、又、在、天、曆、み、る、め、の、同、う、る、ま、の、乃、美

ども、開、は、な、け、れ、い、は、で、の、陸、い、な、む、や、の、出、羽、の、せ、き、同、名、也、て、ま、の、出、雲

異説、とや／＼、とりのむや／＼の關、鷹をいふ、せきはすゝかといふ、不用也、いはとのせきとよ

むはそらなり、非關、あく、と云は、夜のあく、る也、

〔出雲風土記〕<sup>神門郡</sup>通石見國安農郡堺多枳々山卅三里、<sup>路常</sup>通同安農郡川相郷卅六里、<sup>徑常</sup>有、<sup>但當</sup>有、<sup>不</sup>

置、<sup>政時</sup>權、<sup>置耳</sup>

〔出雲風土記〕<sup>仁多郡</sup>通伯耆國日野郡堺阿志毘緣、<sup>緣</sup>山卅五里、<sup>常</sup>有、<sup>百五十步</sup>、<sup>常</sup>有、<sup>通備後國</sup>惠宗郡

堺遊託山卅七里、<sup>常</sup>有、<sup>通同</sup>惠宗郡堺比布山五十三里、<sup>常</sup>無、<sup>割</sup>、<sup>但當</sup>有、<sup>置耳</sup>

〔今昔物語〕<sup>二十七</sup>近衛舍人於常陸國山中詠歌死語第卅五

今昔、<sup>ノ</sup>比、<sup>ノ</sup>ト云、近衛舍人有ケリ、神樂舍人ナドニテ有ルニヤ、歌ヲゾ微妙ク詠ケ

ル、其レガ相撲ノ使ニテ東國ニ下タリケルニ、陸奥國ヨリ常陸ノ國へ超ル山ヲバ、燒山ノ關トテ